

配當は年四割社長を園田武彦氏と言ひ熊崎某氏が常務取締役として事業の一切を管理して居る。而して日本に於ける鐵工事業として異常なる位置を占むる會社である。

#### 五ヶ條の要求案を作成

園池製作所で工場閉鎖を斷行したのは大正九年一月九日である。急激に進展した昨年の労働運動を受次いだ今年は八日に大崎町日本精工會社、九日に大崎町の園池製作所が同一手段の工場閉鎖を行つた。晴明と照り續いた太陽の下に、何事ぞ、資本家は人心を暗慄として曇らす可く、労働者に對して排戦したのである。是より先き園池製作所の職工の心には、種々なる不満な空氣が満ちてゐた。或る者は物價が昂騰しつゝあるのに、舊臘定期の昇給が無かつたのを憤り、又或る者は仕事始めに於て例年職工に酒肴を出したのに、今年はその無い許りか職工等が未だ會社の門を立ち去ら

ざる以前酒肴を運び入れて事務員が誇り顔に狂舞したのを知つて、其不公平なる待遇に激怒した、或者は又他の鐵工場が續々八時間労働制を採用して進歩的なるを誇つてゐるのに、園池製作所が、我が國の萬國労働會議に於て特殊國の汚名を甘受したのを口實とし、八時間労働制を採用せざるを不平としてゐた。或る者は又不時の災厄に遭遇して退職の止む無きに至つた時、退職手當が薄い爲め窮境に陥る事を嘆じてゐた。併しながら以上の事から超越して、全部共通的に憤懣に堪へなかつたのは、現在の日本産業組織が他く迄專制であつて労働者の人格が全く顧慮されて無いと云ふ事である。凡そ物平を得ざれば必ず鳴る。斯の如くして一月七日頃に大不平と小不平とが鳴り合つた。而して其日の終業後、誰が集まるとも無く、百反坂上の園池俱樂部に歩を運んだ、職工約二百餘名初めは唯雑然と語り合つてゐたが、一人の職工が立つて、「自分等が斯くの如き不平を抱きながら會

社に出動して、職務も手に着かざるが如き有様では徒らに自分等のみの損害では無く延いて會社にも多大なる損害を與へる事になるので、何等かの方法を以つて此解決をつけやうでは無いか」と叫び出した、大多数はそれに賛成し、各組毎に會社に對する要求案を集め、其採決は大多数の園池製作の職工が東京鐵工組合大崎支部の會員であるの理由を以て、大崎支部の幹部會に委任する事とした。

八日の正午の休憩時間を利用して此問題の爲め園池鐵工組合理事が議長となり、大崎支部幹部會を開催。其日の午後四時十分園池俱樂部に於て同じく幹部會開催、同五時四十分から同俱樂部に於て園池一般職工總會を開催した。其結果

- 一、八時間労働制を實施する事
- 二、賃銀一割増給の事
- 三、解雇手當を左の如き割合を以て支給する事
- (三ヶ月以上一ヶ年未満の勤務者に對し一ヶ

月分爾後一ヶ年を増す毎に二ヶ月分を増す事

- 四、退職手當を左の割合に依り支給する事(三ヶ年未満勤務の者に對し一ヶ月分爾後一ヶ年を増す毎に一ヶ月分を増す事)但し右解雇及び退職手當の算定は入社の日を遡りて之れを起算する事
- 五、長階級の任免は左の方法に依り選舉制にする事

「長」一名に對し職業別に依り一般投票を以て三名の候補者を選出す。會社は右の候補者中より一名を任命する事

但し會社は前記の「長」の選出に於て職工三分の二以上の決議を以てする不信認の意志の表明ありたる時は直ちに之れを免するものとす。

以上五ヶ條の要求を、東京鐵工組合大崎支部の名を以て、會社に提出する事に決定し、實行委員を選擧の後、夜更けて散會した。